



# まちづくりGX～都市の脱炭素化の推進～

2026年1月26日  
国土交通省 都市局 都市環境課

# 都市を取り巻く環境と求められている3つの視点

- 都市において、地球的・国家的規模の課題である①**気候変動への対応**（温室効果ガスの排出削減・吸収、エネルギーの効率化、水害対策、暑熱対策等）や②**生物多様性の確保**（生物の生息・生育環境の確保、環境教育等）に加えて、コロナ禍を契機とした人々のライフスタイルの変化を受けた③**Well-beingの向上**（健康の増進、良好な子育て環境等）の社会的要請に対応する必要。

## 都市に取組が求められる3つの視点

### ① 気候変動への対応

#### パリ協定

（2015年12月採択）

- 世界共通の目標として2℃目標→1.5℃目標

#### 地球温暖化対策計画

（2025年2月閣議決定）

- 2035年度60%削減目標（2013年度比）等
- 脱炭素に資する都市構造、都市緑化等の推進

#### 熱中症対策実行計画

（2023年5月閣議決定）

- 熱中症による死者数の半減（2030年）
- まちなかの暑さ対策、緑地の確保

### ② 生物多様性の確保

#### 昆明・モンリオール生物多様性枠組

（2022年12月採択）

- 生物多様性の損失を止め反転（ネイチャーポジティブ）
- 陸と海のそれぞれ30%を保全（30by30）
- 生物多様性に配慮した都市計画、都市部における緑地確保

#### 生物多様性国家戦略2023-2030

（2023年3月閣議決定）

- 2030年ネイチャーポジティブの実現
- 都市における生物多様性の確保、都市部の居住者の自然とのふれあい

### ③ Well-beingの向上

#### SDG s（持続可能な開発目標）

- すべての人に健康と福祉を【ゴール3】  
（Good Health and Well-Being）

【WHO憲章前文】（抜粋）

「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態（well-being）にあることをいいます。」

#### 健康日本21（第3次）

（2024年4月～）

（国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針）

- 自然に健康になれる環境づくり

## まちづくりとしての取組：「まちづくりGX」

### 都市構造の変革やライフスタイルの変容の促進

- コンパクト・プラス・ネットワークや  
居心地が良く歩きたくなる空間づくりの推進 等

### 街区単位での取組

- エネルギーの面的利用の推進
- 環境に配慮した民間都市開発の推進 等

### 都市における緑とオープンスペースの展開

- 都市の緑地の質・量両面での確保
- グリーンインフラの社会実装の推進 等

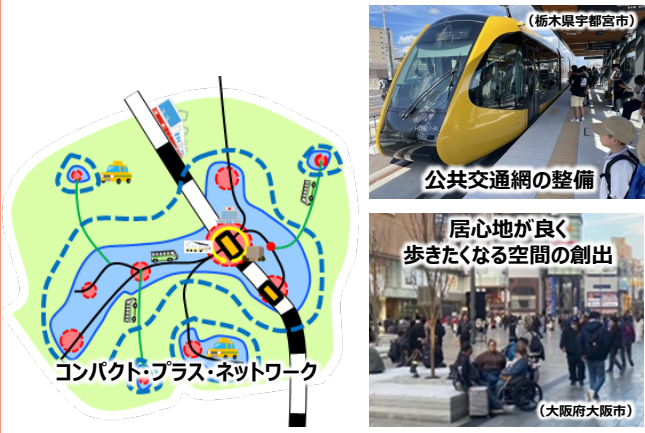
# まちづくりGXの概要

地球的・国家的規模の課題である①気候変動への緩和策・適応策（CO2排出削減、暑熱対策等）や②生物多様性の確保（生物の生息・生育環境の確保等）、人々のライフスタイルの変化を受けた③Well-beingの向上（健康の増進、良好な子育て環境等）の社会的要請に対応するため、環境に優しい都市構造への変革、都市におけるエネルギーの面的利用の推進、都市緑地の多様な機能の発揮を図る取組を進めるほか、猛暑の中でも安全・快適に暮らせる都市環境づくりを推進する。

## 施策の概要

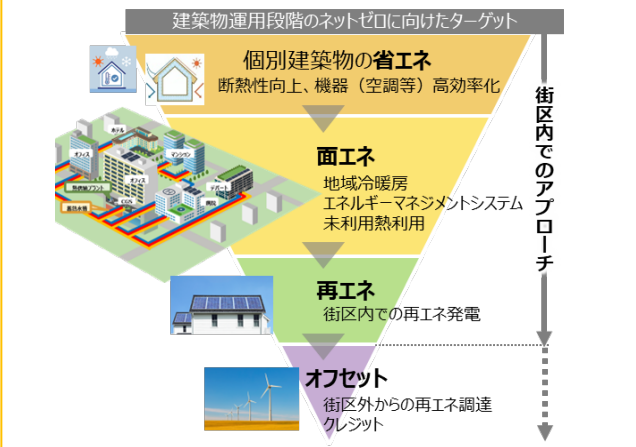
### 都市構造や移動手段の変革

コンパクト・プラス・ネットワークや都市機能の集約による公共交通の利用促進等により、徒歩・自転車や公共交通の分担率の向上を図り、CO2排出量の削減等を推進



### 街区・建築物単位での取組

エネルギー密度の高い市街地において、再エネ化等の取組を集中的に支援するなど、エネルギーの面的利用やZEBレベルの省エネ水準の建築物整備を推進し、エネルギー利用を効率化



### 緑とオープンスペースの確保

都市公園の整備を含むグリーンインフラの社会実装、緑地の保全や緑化の推進、金融等の関係者との連携を通じた民間事業者等による緑地確保の後押しを進め、CO2吸収、生物の生息・生育空間の確保、健康増進等を推進



## 猛暑の中でも安全・快適に暮らせる都市環境

まちなかでのグリーンインフラの社会実装、クールスポットの創出に係る先進的な取組等の支援を進め、ヒートアイランド対策を推進





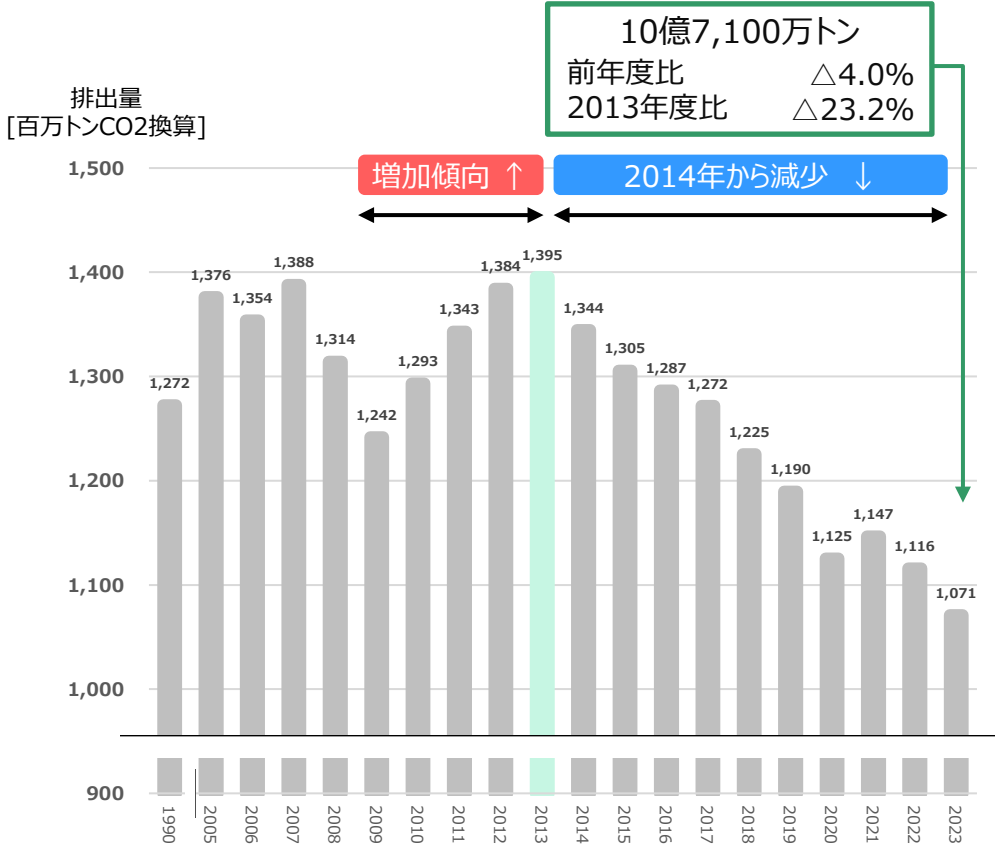
# 都市におけるカーボンニュートラルの検討

---

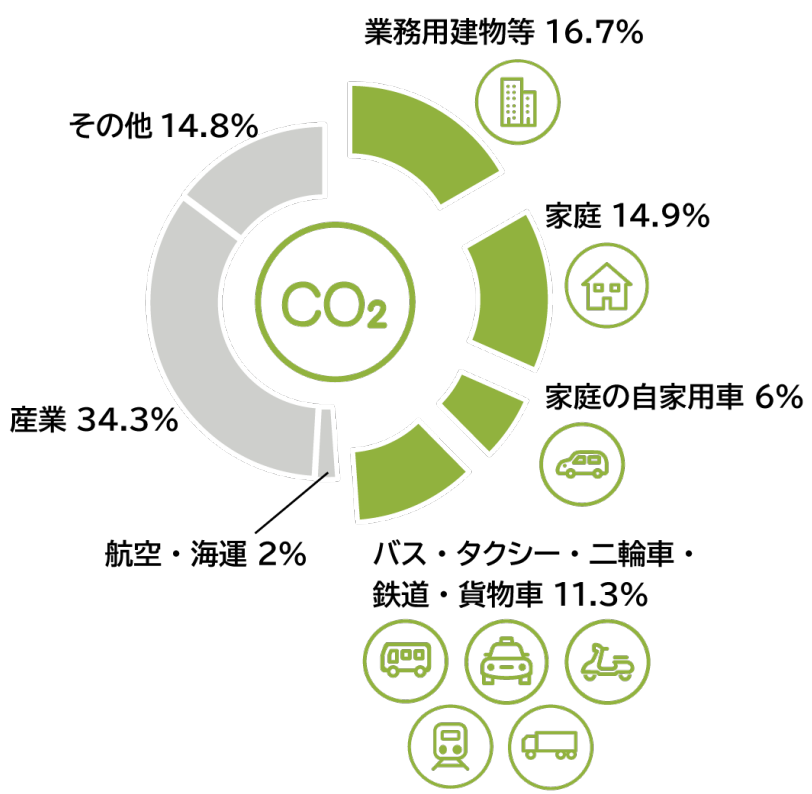


○二酸化炭素総排出量のうち、**約 5 割が都市活動に由来**。都市は、人・モノ・エネルギーが集中する場。  
その在り方はCO2排出量に影響するため、カーボンニュートラルに対する都市行政の取組・貢献は大きい。

温室効果ガス排出量の年度別推移



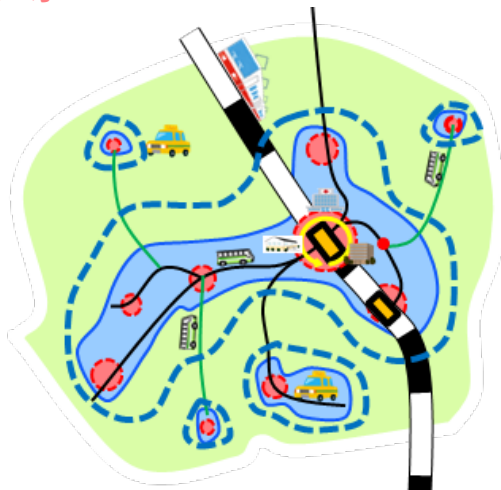
温室効果ガス排出量の内訳（2023年度）



# 都市局のこれまでの取り組み“まちづくりのグリーン化”

## 都市構造の変革

都市のコンパクト・プラス・ネットワークの推進や居心地が良く歩きたくなる空間づくり等



居心地が良く歩きたくなる空間の創出

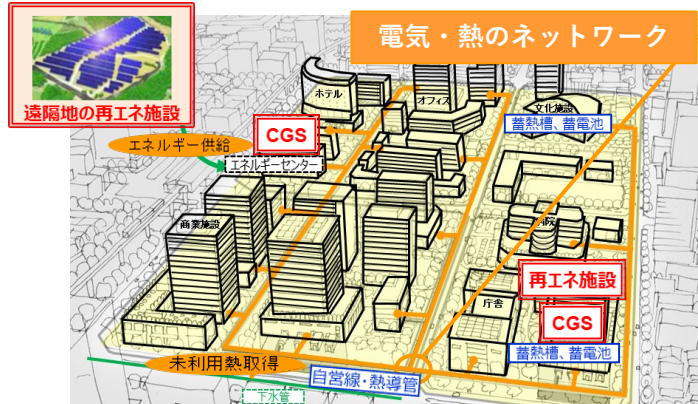


公共交通網の整備

都市機能の集約による公共交通の利用促進等によるCO2排出量の削減を推進

## 街区単位での取組

デジタル技術等を活用した、エネルギーの面的利用による効率化



【R5拡充】 (エネルギーの面的利用の推進) 【国際競争業務継続拠点整備事業】

- エネルギー供給施設（太陽光発電施設、CGS等）整備を支援
- 対象区域に電力供給する遠隔地の再エネ施設の整備等も支援

<対象イメージ>



再生可能エネルギー施設



コージェネレーションシステム (CGS)

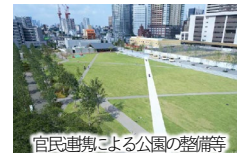
複数建物をエネルギー導管でつなぎ、面的利用を図ること等により、エネルギー利用を効率化

## 都市における緑とオープンスペースの展開

グリーンインフラの社会実装、環境に配慮した民間都市開発等のまちづくりのグリーン化



屋上緑化



官民連携による公園の整備等



樹木主体の都市公園

都市部における緑地の確保やヒートアイランド現象の緩和によるCO2吸収・排出抑制を推進

# 都市局これまでの取り組み

## 都市構造の変革

都市のコンパクト・プラス・ネットワークの推進や居心地が良く歩きたくなる空間づくり等

## 街区単位での取組

デジタル技術等を活用した、エネルギーの面的利用による効率化



2012 先導的都市環境形成促進事業

## 都市における緑とオープンスペースの展開

グリーンインフラの社会実装、環境に配慮した民間都市開発等のまちづくりのグリーン化



2013 エコまち法（都市の低炭素化の促進に関する法律）

2014 立地適正化計画制度創設

多くの補助制度が紐づいていく…

Cf 2021

政府の地球温対計画

制度拡充を繰り返す…

2021 都市再生整備計画事業  
（まちづくり交付金）

公共施設のZEB化を補助、要件化

2017 都市緑地法等  
（都市農地の保全）

2020 グリーンインフラ補助制度創設

2024 都市緑地法改正  
（民間緑地の評価・認定制度）



## 世界はどのようにカーボンニュートラルに取り組んでいるか

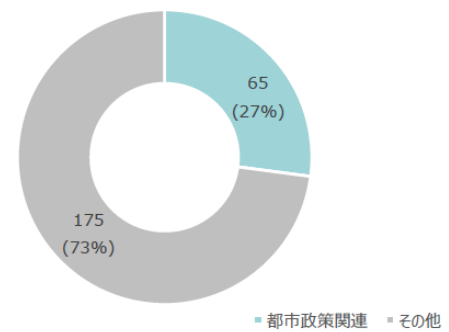


# 世界はどのようにカーボンニュートラルに取り組んでいるか

Barcelona's Climate Plan 2018-2030の2030年までの具体的な目標



Barcelona's Climate Plan 2018-2030の施策内訳



フィンランド・  
●土地利用 ●建設等 ●環境

英国・ロンドン  
●土地利用 ●交通 ●建設等 ●循環型経済

スペイン・バルセロナ  
●土地利用 ●交通 ●グリーンインフラ

フランス・パリ  
●土地利用 ●交通 ●グリーンインフラ

韓国・ソウル  
●交通 ●建築等 ●グリーンインフラ ●防災

シンガポール・プンゴル  
●交通 ●グリーンインフラ

豪州・メルボルン  
●交通 ●建築等 ●グリーンインフラ ●廃棄物

米国  
●土地利用 ●建設等

## Climate Change Mitigation Strategy to 2050

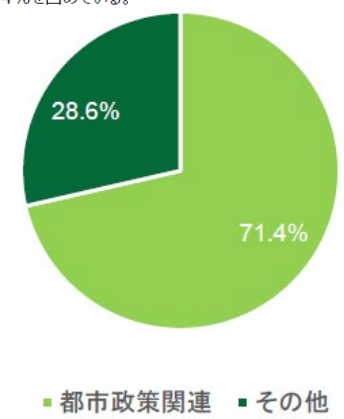
### 目的・目標

- メルボルン市は2018年に、**2050年までに温室効果ガス排出を実質的にゼロ**にすることを目指し、気候変動の影響を軽減するための具体的な行動計画を策定・実施するための戦略「Climate Change Mitigation Strategy to 2050」を発表した。
- 短期・中期の具体的な目標を設定しており、5年ごとに実施計画に基づいて進捗を評価し、必要に応じて戦略を更新することとなっている。
- 4つのシナリオを分析しており、気候変動対策の**Significant Action**シナリオを**実行**し、可能な場合にはAccelerated Actionシナリオも追求することを目指している。

### 2030年までの具体的な目標

シナリオ	2025年までの排出削減*	2030年までの排出削減*	2030年の1人当たりの目標	ネットゼロ排出	パリ協定との整合
現状維持	-3%**	-6%**	22.1tCO2-e	達成しない	-
<b>Significant Action</b>	<b>-10%</b>	<b>-29%</b>	<b>14.3tCO2-e</b>	<b>2050年</b>	○
Accelerated Action	-21%	-50%	10.7tCO2-e	2043年	○
2020年からのオフセット購入	-100%	-100%	22.1tCO2-e	2020年	-

全4施策領域につき21個の具体的な施策があるが、それらの施策のうち、都市政策関連（交通、住宅、都市計画など）の施策は、計15個あり、全体の71.4%を占めている。







10/4  
(FRI)  
第1回

11/1  
(FRI)  
第2回

12/6  
(FRI)  
第3回

1/10  
(FRI)  
第4回

2/14  
(FRI)  
第5回

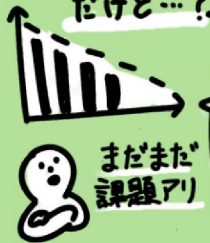
3/14  
(FRI)  
第6回



ニ都市環境課ニ  
国土交通省 新設課!  
まちづくりGX

日本の  
カーボンニュートラル

減少傾向  
だけど...?



地方の都市行政5割  
目標票なし

環境と都市  
両方にまたがる  
専門家の不足



実はCO<sub>2</sub>排出量の  
5割は都市由来

都市に  
注目!!



家庭から  
始めよう!

『普段の暮らし』  
こそが重要

人中心

# Gx Creation Meeting



今佐和子

国土交通省  
都市環境課



川合 健太

## カーボンニュートラルは 都市を変える チャンス!!

UNIVERSITY  
of CREATIVITY



近藤 ヒデヨリ

そのために……

☆ 外に開き、色んな  
人と話そう

☆ 海外の事例から  
学ぼう

☆ 共に推進する  
仲間を作ろう

全6回のゲスト達

東京大学

小泉 秀樹



サステナブル  
都市計画家

山崎 満広



フランス都市政策  
研究家

ヴァンソン  
藤井 由実



明海大学

西村 愛



東京大学

村山 顕人



在米都市専門  
コンサルタント

古澤 えり



Build Vision  
BV

吉田 和充



千葉大学

村木 美貴



NHKインタープライズ  
エビデンス・プロデューサー

聖達 京子





## 学校前を歩行者専用

フランス・パリ

パリでは、2014年に市長によって、「学校前道路整備」がスタートしました。

身の回りの場所から自分たちのまちを美しくすることを目的に、市内の169の幼稚園や小学校前の道路の車両通行を禁止し、歩行者専用道路にするプロジェクト。歩行者、子ども、高齢者等の弱い立場にある人にとって道路をより安全なものとすることを目的として実施されました。

同時に、車の交通量減により、大気汚染の解消、CO2排出量削減も期待されます。

こんな道なら登下校が楽しみになりそう！  
私のまちは歩道が狭くて、前を向いて  
一列で歩かないと先生に怒られるんだよね。



【出典】

パリ市ウェブサイト「Plus de 200 « rues aux écoles » dans Paris」

(Credit: Christophe Belin / Ville de Paris, Joséphine Brueder/Ville de Paris)



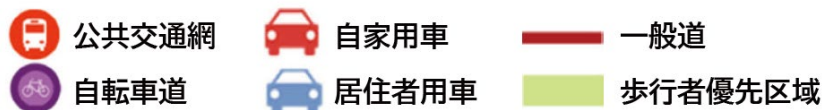
## ウォーカブル×緑でもっと進化

スペイン・バルセロナ

バルセロナ市では2012年から段階的に、住宅が集まるエリアで車の通行を制限し、住民が安心して過ごせる空間をつくっています。

まちなかの緑地の拡大は、暑さ対策、地面へ雨をしみこませ洪水を減らす効果も狙っており、少しでも快適に暮らせる戦略の中核をなしています。

バルセロナの取組みにより、**歩行者中心の空間にするとレストランや小売店の売上が上がる**ことがわかりました。



1



2

歩行者に優しいと  
消費意欲も高くなる  
ということか！





## 建物の省エネと地域価値創出

英国・ロンドン、地方都市

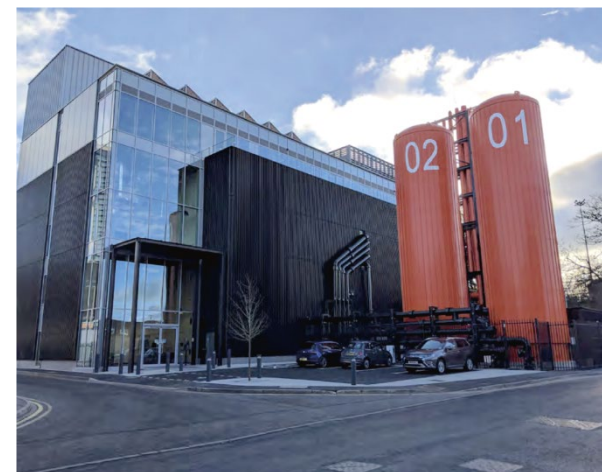
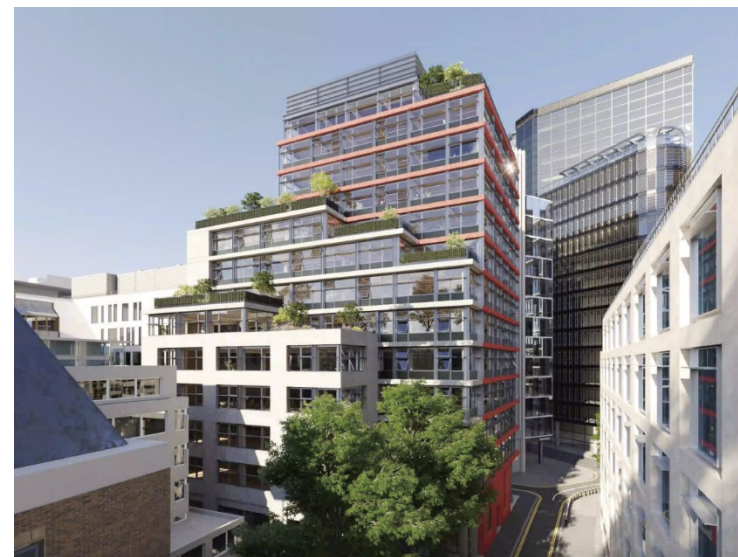
ロンドンでは、設計から建設、運用、解体まで建物の一生で排出されるCO2量を2040年までに実質ゼロにすることを目指しています。

ある再開発プロジェクトでは、古いビルを壊して新しく建てる際、鉄骨やコンクリートを再利用しました。こうした取組により、建設過程のCO2排出量を大きく抑えたほか、工事に関わる10%を地元の人とすることで、地元の雇用創出にも役立ちました。さらに、一般的なオフィスビルより約50%少ないエネルギーで稼働します。

公共駐車場にエネルギー設備を併設かぁ！  
ビルの地下に置く以外のやり方もあるんだなぁ。



人口約10万人の地方都市ウォーキング市では、2001年に公共駐車場にコージェネレーションシステムを設置し近くの公共施設に電気と熱を供給しています。通常よりもエネルギーを効率的に使うことができ、結果としてCO2の排出量削減と災害による停電時のエネルギー供給の両方に貢献しています。



【出典】

Waterman Group「Edenica - 100 Fetter Lane」

Waterman Group「Edenica」プロジェクトウェブサイト

Woking Borough Council「Woking Town Centre Masterplan」

## 建物の省エネ規制と市場連動

英国・ロンドン

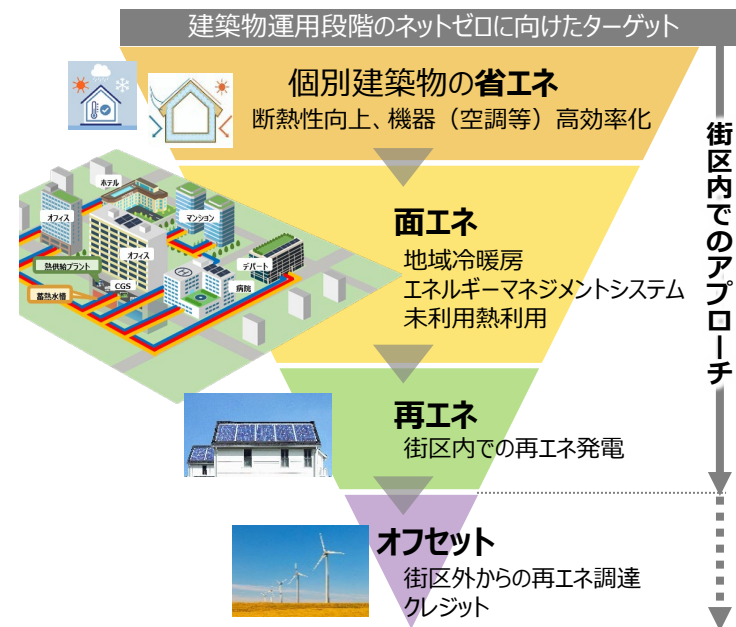
ロンドンでは都市開発の許可を担う都市計画において、ゼロカーボン（2040年までにオペレーション+エンボディドでゼロ）の目標が掲げられている。

新築・改修時に全ライフサイクルでの排出量に関する協議が行われる。右図の上から順に優先して策を講じ、敷地内にて最低35%の排出量削減をすることが求められる。排出量ゼロが達成出来ない場合は、オフセットを行い、その費用が公共施設の再エネ設備費用等に充当すしている。

具体的な規制水準を定めて建物の開発・運用を行うことも、まちづくりとして意識することが大切なんだなあ。



不動産取引を行う際には、建物のエネルギーパフォーマンスの開示が義務づけられており、エネルギー効率の悪い建物は、基準を満たす改修を行わない限り、賃貸することが認められない。



### Energy Performance Asset Rating

More energy efficient

A+

A 0-25

B 26-50

C 51-75

D 76-100

E 101-125

F 126-150

G Over 150

Less energy efficient

192 This is how energy efficient the building is.

# R6勉強会からの学び

## ①“環境”は目的であり手段でもある

他の社会課題との掛け合わせ、  
大切なのは暮らしが豊かになるかどうか！



## ②メインスコープは、

都市構造・移動

+ 建物・街区 + 緑



## ③効果の見える化が大事

⇔ 数値のみでなく、  
ストーリー作り・発信も大事



## ④担当者のNWづくりが大切、

都市業界の人と環境ビジネスとの  
つながりが日本では希薄

## ⑤プラン・ビジョンも大切

⇔ 個別街区の積み上げも大切



⑥首長を起点としたトップダウンの強い  
リーダーシップと、アンバサダー制度など  
住民・市民からのボトムアップ

⑦日本は共創が弱い。  
政策と市民が遠い。



⑧海外の環境先進都市と比較しての日本の  
立ち位置。遅れている/優れている分野も  
ある。（分野に関わらず発信は弱い）

⑨環境起点の新たなビジネス・経済価値が  
生まれつつある

⇔ GDPではない新たな価値観  
環境価値（防災・CO2吸収）も必要

⑩「なぜ脱炭素をやらねばならないのか」を  
ちゃんと伝える。危機感を共有する。



# ①“環境”は目的であり手段でもある

他の社会課題との掛け合わせ、大切なのは暮らしが豊かになるかどうか

○環境・気候変動対策となると、日本では、義務的に捉えられがち

海外諸都市では、**社会・地域課題への対策のなかで気候変動対策にもアプローチ**

例：地域産業活性化や雇用創出、失業・貧困・格差問題、防災・レジリエンス向上、交通の問題、etc.

○欧州では“環境対策＝慈善事業”ではなく**“環境対策＝成長戦略”**として儲ける意識

車中心の道路から歩行者中心の道路へ



“一石n鳥”

“複数便益”



住みやすさを追求すると環境への配慮につながる

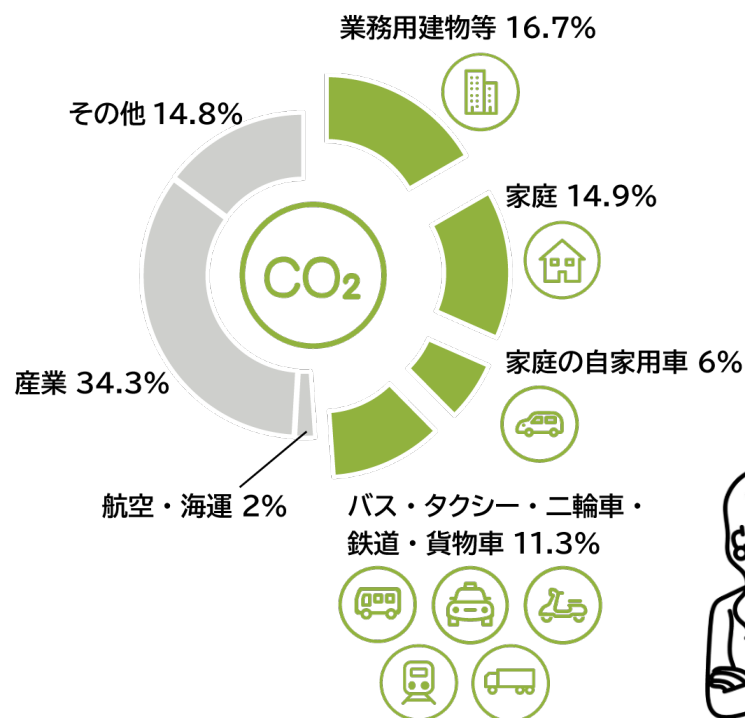
出典：ヴァンソン藤井由実氏 講演資料より

## ②メインスコープは、 都市構造・移動＋街区・建物＋緑



- 海外諸都市の気候変動対策において、都市政策として進められているものは大きく分けて「**都市構造・移動＋街区・建物＋緑**」
- 自転車施策や建物性能の向上は世界的に大きな潮流となっている

温室効果ガス排出量の内訳（2023年度）



まちづくりのグリーン化



まちづくりGXへの勉強会からの学び・示唆



こう変える？

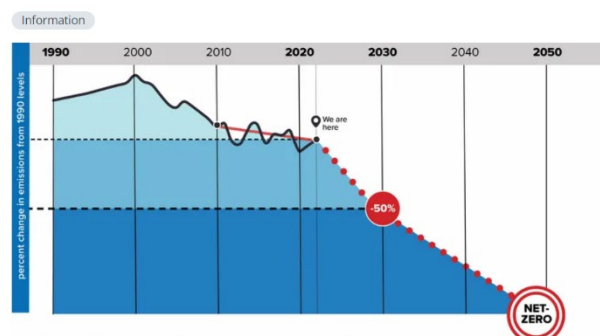
### ③効果の見える化が大事

⇔ 数値に囚われすぎず、ストーリー作り・発信も大事

- GHG排出量は目に見えない。**効果を見える化しモチベーションを保つ必要がある。**  
海外諸都市では、アプリを用いて施策効果をわかりやすく可視化していたり、外部団体にモニタリングしてもらう等の工夫をしている。(サマビル)
- 一方で、「**数値を追いすぎる**」と都市を良くするという本質を見失うという海外からの示唆もあった。日本ではバラバラで行われていた施策を環境文脈のストーリーにまとめ直す、ストーリー作りと発信を変えるだけでも民間投資進むのではないだろうか。

ポートランド市  
GHG削減量の見える化

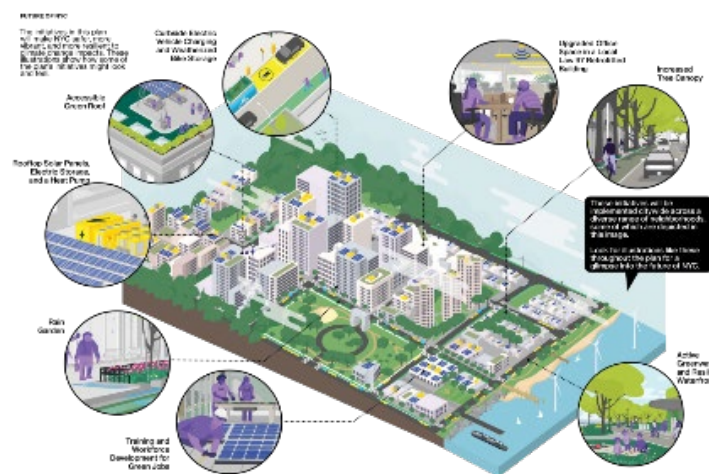
Progress to-date on carbon emissions reduction



Portland and Multnomah County have been tracking local carbon emissions for more than 30 years, using an annual sector-based emissions inventory.

出典: ポートランド市

2024年版「PlaNYC」  
1年目の達成事項



出典: ニューヨーク市

サマビル市:  
気候変動アンバサダー



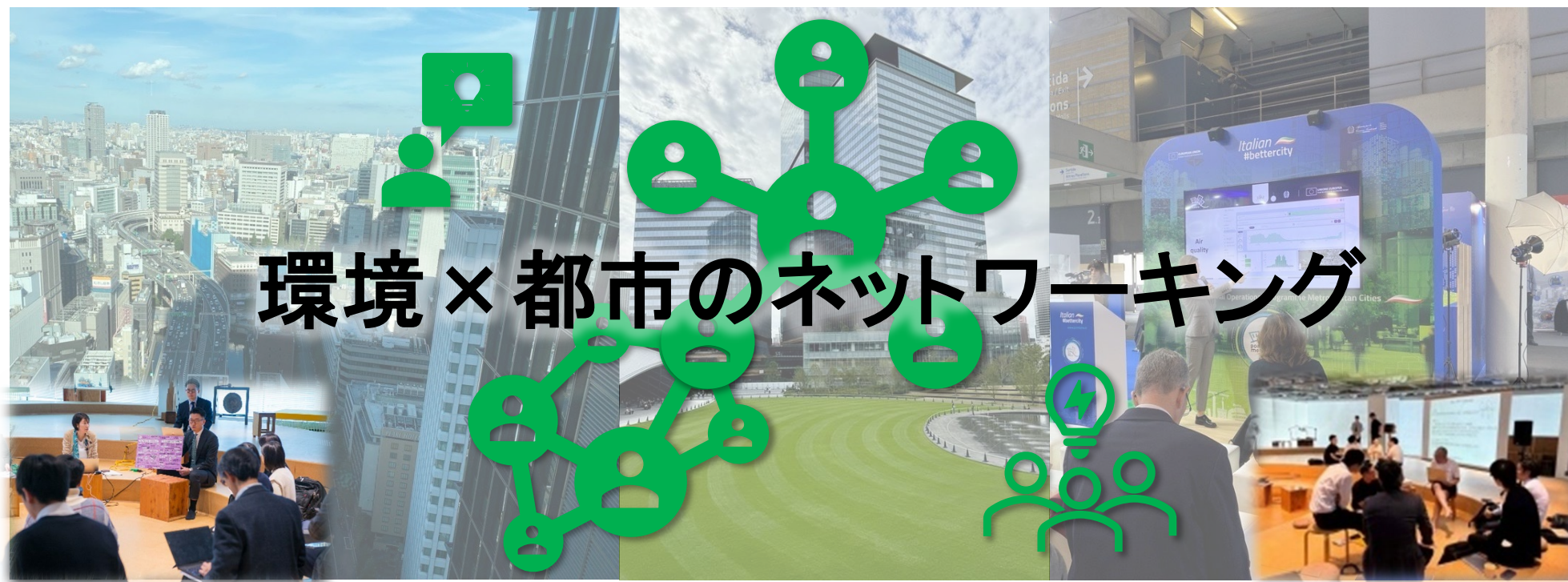
出典: 古澤えり氏講演資料





## ④都市と環境の業界間のネットワーク作りが大切 海外では業界間のつながり◎

- 海外諸都市では、サステナビジネスが都市開発やまちづくりにインストールされている一方で、日本では環境×都市の分野を跨ぐ専門家が、海外と比較すると相対的に少ない。まずは、**都市業界と環境業界の人同士がつながっていくことが必要**。
- 欧州でも環境制度の普及のために国が率先して担当者のネットワーキングを実施していた。(フランス)





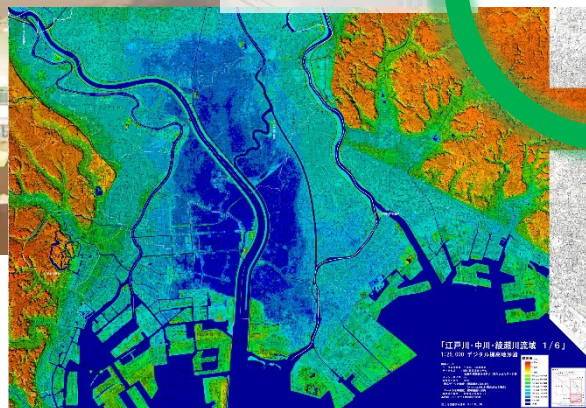
# ⑩ 「なぜ脱炭素をやらなければいけないのか」をちゃんと伝える。危機感を共有する。

- 気候変動による脅威は、海面上昇や豪雨・猛暑等、私たちの暮らしへ迫ってきている。しかし、地球規模の温暖化と日々の都市での生活とは無縁の話のように感じてしまっている人が多いのが現実である。
- 「このまま気候変動が進めばどのようなことが起きるのか」を共有し、自身の暮らしと気候変動が密接に関わっているという認識で脱炭素に取り組まなければいけない。

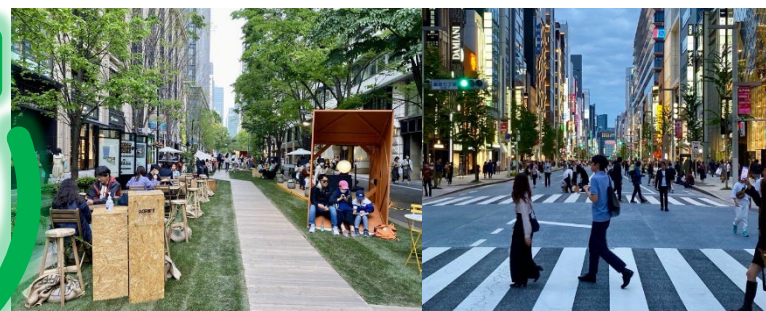
毎年  
襲う  
豪雨  
と  
猛暑



出典: 堅達氏 講演資料



意識



普段の都市生活





# 日本都市計画学会と連携したセミナーの開催

日本都市計画学会 環境特別委員会  
×  
国土交通省 都市局 都市環境課

まちづくりGXの分野育成・人材育成に向けた  
産・官・学連携の連続セミナーを開催します！

詳細・申込はこちら→



対面・オンライン併用です！

## GX Creation Meeting 2025 ～都市と環境のいい関係を考える～

次回(2月13日(金))のご案内  
テーマ:都市環境×Well-Being、自治体政策



### 【年間スケジュール】

8/7(木) 14:30～17:00 会場:3×3 Lab Future	12/19(金) 14:30～17:00 会場:Glass Rock
#脱炭素 #都市計画 #国内都市の実践	#海外動向
千葉大学 村木美貴 教授 札幌市 都心まちづくり課	日本都市計画学会 環境特別委員会
9/1(月) 14:30～17:00 会場:PYNT	1/16(金) 14:00～17:00 会場:温故創新の森 NOVARE
#バルセロナ #緑化 #生成AI #市民参加 #データ活用	#エネルギー #マネジメント
東京大学 吉村有司 特任准教授	千葉大学 村木美貴 教授 (モデレーター)
10/28(火) 13:30～16:00 会場:City Lab Tokyo	2/13(金) 14:30～17:00 会場:BLUE FRONT SHIBAURA
#建築設備 #都市開発	#Well-Being #自治体政策
(株)日建設計 水出喜太郎 常務執行役員	(一社)スマートシティ・インスティテュート 南雲岳彦 代表理事
11/21(金) 14:30～17:00 会場:未定	3/13(金) 14:30～17:00 会場:UNIVERSITY of CREATIVITY
#マネタイズ #ビジネス	#リジエナティブ
(株)ヴォンエルフ/Arc Japan 平松宏城 代表取締役	東京大学 中島弘貴 特任講師

日本都市計画学会 環境特別委員会  
×  
国土交通省 都市局 都市環境課

まちづくりGXの分野育成・人材育成に向けた  
産・官・学連携の連続セミナーを開催します！

詳細・申込はこちら→

**GX Creation Meeting 2025**  
～都市と環境のいい関係を考える～

**10.28 火 @ City Lab TOKYO**  
13:30～16:00

会場 | City Lab TOKYO (東京スクエアガーデン6階)  
形式 | 対面 (人数制限あり)・オンライン併用  
対象 | 企業や自治体等で都市分野・環境分野に従事する方など

**水出 喜太郎 氏**  
(株)日建設計 常務執行役員

日本都市計画学会 環境特別委員会  
×  
国土交通省 都市局 都市環境課

まちづくりGXの分野育成・人材育成に向けた  
産・官・学連携の連続セミナーを開催します！

詳細・申込はこちら→

**GX Creation Meeting 2025**  
～都市と環境のいい関係を考える～

**12.19 (金) 14:30～17:00**

会場: Glass Rock (B1F)

形式 | 対面 (人数制限あり)・オンライン併用  
対象 | 企業や自治体等で都市・環境分野に従事する方など

**小泉 秀樹 氏** × **村山 顕人 氏**  
東京大学 大学院工学系研究科 都市工学専攻教授

日本都市計画学会 環境特別委員会  
×  
国土交通省 都市局 都市環境課

まちづくりGXの分野育成・人材育成に向けた  
産・官・学連携の連続セミナーを開催します！

詳細・申込はこちら→

**GX Creation Meeting 2025**  
～都市と環境のいい関係を考える～ vol.6

**01.16 (金) 14:00～17:00**

会場: 温故創新の森 NOVARE

形式 | 対面 (人数制限あり)・オンライン併用  
対象 | 企業や自治体等で都市・環境分野に従事する方など

**村木 美貴 氏**  
千葉大学教授



# 脱炭素都市づくり に向けて

はじめに  
? なぜ都市の脱炭素が重要なのか?  
! CO2排出量削減の約1/3を都市部が占めている!

# 札幌市都市部の エネルギー政策とまちづくり

建替・改修等 ≡ 脱炭素化

## ロンドン

目標 2040年までにゼロカーボン  
(オペレーション+エムボディド)  
→ 都市計画として求められている

異分野間の言葉/認識の合わせ、協力が必要

**CO2 ライフサイクル**  
建替・改修～稼働～解体までモニタリング

**EPC Energy Performance Certificate**  
エネルギー効率を明示  
低い場合は賃上げ規制も

**オフセット**  
不達成のオフセットは  
地域の脱炭素に活用

**歴史的価値と共存の記録**  
歴史的建造物も外観は  
守りながら脱炭素にするのがサステナブル

**脱炭素空間**  
グリーンビルは投資も  
入居者も集まる!

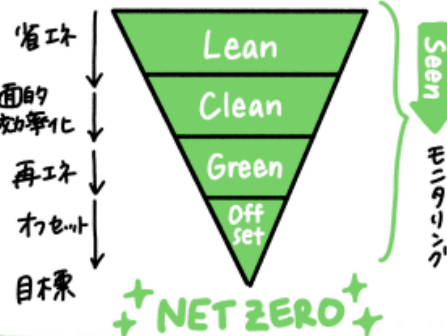
**エネルギーセンター**  
デザイン性高くエネルギー利用を  
市民へ伝えるコミュニケーション

脱炭素はもはや  
当たり前&必須

エネルギーを  
言えるものに  
なりたい!

+ 地域の価値や  
市民への価値を  
高めるフェーズへ

✓ 時間軸ごとの目標設定  
+ バックカスティング



✓ エリアごとの排出量構造  
特性に合わせてプランニング

✓ 目標達成に向けた参加・行動力を  
促すしかけ(お願ひ+アム)

他の都市でも意識すべきポイントは?

★ 定量的な目標づくりと  
体系的なモニタリング

目標が曖昧に  
言えない!

★ 現状特性を把握するために  
データ集めること

首長さん  
がアムを  
するの  
か!?

★ プライオリティを上げる鍵は  
トップの決断

専門家(先生・コンサル)も含め  
長期スパンのチームが理想

長期戦!

目標 2050年にゼロカーボンシティへ  
→ 都市計画×都市エネルギーフレーム

まち・エネルギーの有識者、ステークホルダーで検討

**地域熱供給**  
1971年から導入し、着目での  
エネルギー面的利用が拡大

**活用**  
2018年度所収の1/5を  
15年度に削減できた

**推進**  
熱導管のための  
道路使用料は免除

**今までの  
「つぼみ」  
にホッ!**

**E!まち開発推進制度**  
新築建物を事前協議で  
低炭素・強靱・快適を促進

**開港場誘導方針**  
公共空間のニューに適合する  
目標値にふりて管理率を30%

**企業用地促進補助制度**  
ゼロカーボン推進ビルへ入居する  
テナントの賃料補助率を算定

**72年オリンピック時に  
建てたビルが大半が50年  
建替ラッシュを  
とらえて進んでいる!**

**札幌市は  
札幌市は!**

## 都市構造や移動手段の变革

コンパクト・プラス・ネットワークや都市機能の集約による**公共交通の利用促進**等により、徒歩・自転車や公共交通の分担率の向上を図り、CO2排出量の削減等を推進

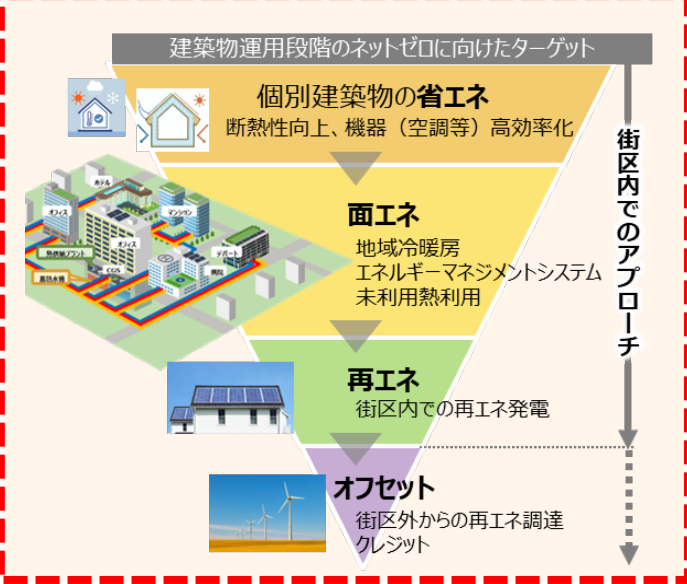
## 街区・建築物単位での取組

エネルギー密度の高い市街地において、再エネ化等の取組を集中的に支援するなど、**エネルギーの面的利用**やZEBレベルの省エネ水準の建築物整備を推進し、**エネルギー利用を効率化**

## 緑とオープンスペースの確保

都市公園の整備を含む**グリーンインフラ**の社会実装、**緑地の保全や緑化の推進**、金融等の関係者との連携を通じた民間事業者等による緑地確保の後押しを進め、CO2吸収、生物の生息・生育空間の確保、健康増進等を推進

# 横串を刺し、まちづくりGX全体を推進



【注力領域】



街区単位

横串

- 既存の法制度で所管しきれていない**“街区”単位**の取組、**エネルギー消費量の低減**に向けた**エネルギーの面的利用**（建築同士のネットワーク）、**未利用エネルギーの活用**等に着目
- 暮らしやすさと気候変動対策の両立に向けた**横串を通した都市政策**